

追悼集：比嘉敏さんへの思い

ここに、沖縄環境  
ネットワークのマ  
ークを入れます。  
デザイン募集中！

ここに、会報の名称を入れます。アイデア募集中！

——— 沖縄環境ネットワーク 会報 ———

## 経過報告とよびかけ

世話人 宇井 純

皆様のご協力により、第16回日本環境会議沖縄大会は盛会のうちに大成功を収めました。沖縄の環境問題が深刻であり、今や放置できない段階に来ていることが多くの発表で明らかになりました。大会宣言では軍事基地の撤去と立ち入り調査、環境の維持可能な産業振興、自然環境の修復の3つの政策提言と並んで、平和を求める沖縄の心を縦軸とし、環境の維持可能な発展を横軸としたサステナブルエリアの形成をめざして、沖縄環境ネットワークの創設が提案されました。この課題は短時間のうちに達成できるものではなく、多くの人々の持続した努力と強調によって初めてこの方向に光がはるかにみえる、そういう性質の仕事でありましょう。

この提言を受けて、大会実行委員の有志が、沖縄環境ネットワークの骨組みを作ることを相談し、昨年12月15日の実行委員会で討論した結果、4月を目標にネットワークを発足させようという話になりました。

12月21日、私たちは有力な仲間の一人、比嘉敏さんを失いました。彼は第2分科会の座長を務め、急死する直前まで環境会議の成功を喜び、環境ネットワークの発

足に大きな期待をかけていました。悲しい知らせですが、彼の遺志を継ぐためにも、環境ネットワークを実質的なものとして作り上げたいと思います。

2月6日のネットワーク準備世話人会では、当面のスケジュールについて相談し、当面2月に1回位のペースで勉強会、毎月世話人会を開くことを決めました。

第1回の勉強会は、沖縄県がこれから制定すると伝えられる環境基本条例について、私たちの基本的な考え方をまとめておくために、この問題に詳しい日本環境会議議長、立教大学の淡路剛久教授を招き、環境基本条例が作られるまでの経過、環境基本計画との関係、地域住民の参加の可能性などについて、ゆっくりお話を聞き、討論したいと考えています。

沖縄の自然環境はもろくてこわれやすい上に、その特徴に合わない画一的、破壊的な公共投資によって急激に破壊されていることは大会宣言でも指摘されました。この現状を改善するためにはしっかりした立脚点と、息の長い運動が必要でしょう。その第一歩をこの勉強会からはじまるネットワーク活動で踏み出したいと思います。大方のご参加を呼びかけます。



淡路剛久：沖縄県も環境基本条例できているんでしょうか。できていないとすれば、本当は好都合なんです、それはいずれ作られるはず。なぜかという、法律がそれを求めています。国もそれを求めています。ところが間違いなのは、国が作った法律に地域が右へならえして、それをまねしているわけです。私はいくつかの地域の環境基本条例の策定にあたっていろいろNGOの人たちと議論をしたりする機会がありました。それから基本計画についてもございました。その時に思ったんですが、特に沖縄について私はそうだと思うんですが、一体この地域をどう描いていくか、2015年、2020年をどう描くのか。それはやはり行政の抽象的な視点で国から下ろしてきても見えないわけです。沖縄のように極めて多様で、しかも地域特性があるところに、たとえば東京都の環境基本計画を持ってきたってこれは役に立たないわけです。

それから次にアセスメントだと思うんです。地域の状況を活かして、逆手にして、発想を逆転させて、たとえば亜熱帯性の気候の中で生物多様性をどう保全していくかの保全戦略、地域戦略を自ら行政に要求して、一緒に参加しながら作っていくというこの戦略をまずやる必要があるだろう。

なぜそれを言うかといいますと、生物多様性国家保全戦略というのが昨年出たわけですが、それはまったく抽象的な言葉であるわけです。しかし抽象的な言葉の中でも、国や自治体レベルで、それぞれが生物多様性国家戦略を作っていく必要があると言っているわけです。沖縄の南西諸島のこういう亜熱帯性の特性を考えたら、国が作れるわけないのです。やはりこの地域を知っていて、この地域で生活をしている人がどうやってこれを保全していくかの計画をきっちと作って、それを上に上げていく。その

ためには、まず島々から始まらなければならないと思うんですね。それを吸い上げていって計画にまとめ上げていく。そういう作業をぜひともやっていただきたい。そしてそれを行政に突きつけて、行政も作らざるを得なくなると思いますので、そこで初めて議論の場ができると思うのです。

公共事業がなぜ止められないかという時に、まずそういう姿がなければ、こちらは反対の案を持っていますから、それは賛成・反対で力で押し切られて、行政が描いた計画がそのまま通ってしまうということになる。別のちゃんとした青写真が描いていければ、科学的根拠をもってそれを作っていれば、それをもってそれを示して議論の場ができる。

今度は議論の場があるかどうか、これが必要です。議論の場がなければいくら持っていって行政がそんなもの聞かないと言ったらおしまいになる。

そこで私は環境アセスメントの条例というのが必要だと思うのです。今はおそらく要綱しかないと思うのですが、国がアセスメントを作ったら必ず自治体はそれに右へならえして必ず条例を作り始めると思います。ですから、自分たちがそのアセスメント条例の案を持つ。そのアセスメント条例の中には、これまでの要綱のように事業のアセスメントではなくて、まずどういう項目についてアセスするかという、そのアセスをするための事前の計画の開示が必要です。その中には事業計画の開示、情報公開があるわけです。そして議論をしながらこういう項目についてアセスしますというスコopingがあって、アセスが終わって事業が始まったときに見直しの調査、報告の手続きがあって、そこでもう一回それを事業の推進に跳ね返えさせていくというような手続きを私は主張するべきではないかと



思います。

私は法律家ですから、やはり法的な手段で、比嘉さんのように武道家的な発言はできませんので（笑）、法的な言葉で言いますが、つまりそういう議論の場を法律に基づいてリーガリーに議論できるような場を作っていく。

環境ネットワークを作りたいという提案がなされていましたが、そういうのは情報を交換する場とか、経験の交流の場だけではなくて、共になにかを作っていく場にする必要がある。その中で重要な課題として、私は今も述べた生物多様性の戦略、それを含めた地域の環境基本計画の戦略、あるいは案、そしてそれを保全するための大きな意味での環境基本条例と環境アセスメント、こういうものを私は法律家を交えながら議論していくことが大事ではないかと思ひます。

これはなにかいい知恵があるというより、こういう形でしか今のところは物事は変わっていかないだろうというふうに私は思っているのです。（日本環境会議沖縄大会：シンポジウム「環境と平和」より編集抜粋）

## ■ 「ユース政策研究会（仮称）」 発足

沖縄の将来は今後どうなっていくのだろうか。去年の県民投票以来、以前に比べて、若者達は意見を求められるようになったが、それらの意見は反映されているのだろうか？「若者の将来のために、雇用のために」、沖縄の将来のためにというキャッチフレーズで、沖縄県の国際都市形成構想が今着々と沖縄の未来予想図として描かれつつある。

しかしながら、その下書きされつつある予想図は本当に私達県民が望む沖縄の姿なのだろうか？？？という多くの疑問の声に答えるべく、自分達の社会の未来は自分達の手で築いていきたい、多くのアイディアを未来の沖縄づくりに生かしたい、という趣旨で若い有志達で政策研究会を発足しました。組織を越えて沖縄の将来を考えたいということで、自己の意識改革を望む行政マン、子育て奮闘中の主婦、理論を検証したい学生、ネットワークを築いていきたい民間企業の職員、危機感を感じるマスコミ人、勉強したい文化評論家などなど、様々な分野の方々が現在の政策を多角的に検証し、共に学び、独自の構想を考え、表現する場、行動する場としてこの会を設けています。県庁でどのような計画が進められているかを知りたい。税金がどのように使われるかを知りたい、監視したい。振興計画に常識と市民のアイディアを反映させたいなどなど。本音で議論し合える場、建設的な議論と行動ができる場として今後活動していきます。興味のある方はお気軽にご参加ください。

次回の研究会へのお誘い

日時：3月29日 AM10:00~12:00

場所：県庁7階 企画調整室

（上里幸秀 TEL. 866-2026）

内容：国際都市形成構想の討論会及び研究会の運営について

参加資格：基本的には35歳以下の方で構成していますが、オブザーバーとしての参加は年齢に関係なく自由です。

また、立場の異なる相手の話もきちんと聞き、建設的な議論と行動のできる方の参加をお待ちしています。

お問い合わせ、参加ご希望の方は  
連絡先：砂川かおり TEL098-937-4724

（自宅）までご連絡ください。



## ■宜野湾の美ら海を守ろう

昨秋沖縄大学で開催された日本環境会議沖縄大会で、『珊瑚礁を守ろうという運動は地球規模で進められているが、沖縄では今なお珊瑚礁の陸化計画が続いている。宜野湾港マリーナ拡張工事でも、防波堤西側に残された珊瑚礁を生き埋めにして海浜公園、多目的広場、駐車場を設ける計画がある。むしろ、沖縄の原風景である珊瑚礁の保全を図り、海浜動物のパノラマを展開すれば、浜下りの文化継承の場となるのでは』と訴えたところ、「宜野湾の美ら海を守ろう」検討会に下記の方々が参加することを表明しました。

又吉京子（ぎのわんセミナーハウス）、久場政春（宜野湾高校）、米盛祐二（琉球大学）、比嘉敏（アトリエ漠）、真喜志好一（建築研究室DAP）、多和田光作（喜瀬武原小中校）、石川元平（県教職員組合）、与那覇章（県高校教職員組合）、浦島悦子（佐喜真美術館）、吉嶺全二（沖縄赤土問題研究会）、長田英巳（県公衆衛生協会）、大嶺哲雄（沖縄大

学）、由井昌子（沖縄タイムス）、山吉剛（沖縄大学）、横井謙典（県ダイビング安全対策協議会）、山川勝章（県海洋レジャー事業組合）、国政美恵（株式会社開成）具志堅宗弘（沖縄水産研究会）。

検討会は 3月17日（月）午後 2時より沖縄大学地域研究所で開きます。なお、3月10～12日14:11～15:35 は大潮で珊瑚礁観察によりチャンスです。潮位は 9～12cm。

残念ながら、本企画の当初から参加していた比嘉敏さんが去る12月21日逝去しました。遺志を全うしたいと願っています。

文責 具志堅宗弘

那覇市 松山 1-1-23 ☎ 868-2862



消えゆく運命にある宜野湾港マリーナ沖の珊瑚礁

■宜野湾港現況写真（平成7年3月撮影） 宜野湾港マリーナ拡張工事埋立計画





# OKINAWA CLEAN BEACH CLUB

## 1997 SCHEDULE

| No.                                                                                                                                            | 期日<br>DATE | 場所<br>CITY                                      | ビーチ<br>BEACH              | 時間<br>TIME |          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------------------------------------------------|---------------------------|------------|----------|
| 1                                                                                                                                              | 3月2日       | 恩納村<br>ONNA-SON                                 | 真栄田岬<br>MAEDA-MISAKI      | 10:00 AM   |          |
| * サンゴの日 (沖縄県ダイビング安全対策協議会主催)<br>CORAL REEF PRESERVATION DAY<br>(COORDINATED WITH THE OKINAWA DIVING SAFETY COUNCIL)                             |            |                                                 |                           |            |          |
| 2                                                                                                                                              | 3月16日      | 恩納村<br>ONNA-SON                                 | 久良波<br>KURAHARA           | 10:00 AM   |          |
| 3                                                                                                                                              | 4月20日      | 読谷村<br>YOMITAN-SON                              | 瀬名波ガマ<br>SENAHA BEACH     | 10:00 AM   |          |
| 4                                                                                                                                              | 5月18日      | 恩納村<br>ONNA-SON                                 | 仲泊ビーチ<br>NAKADOMARI BEACH | 10:00 AM   |          |
| 5                                                                                                                                              | 6月15日      | 読谷村<br>YOMITAN-SON                              | 宇座ビーチ<br>UZA BEACH        | 10:00 AM   |          |
| 6                                                                                                                                              | 7月20日      | 恩納村<br>ONNA-SON                                 | 谷茶ビーチ<br>TANCHA BEACH     | 10:00 AM   |          |
| 7                                                                                                                                              | 8月17日      | 名護市<br>NAGO-SHI                                 | 許田ビーチ<br>KYODA BEACH      | 10:00 AM   |          |
| 8                                                                                                                                              | 9月21日      | 辺戸岬～喜屋武岬の海岸<br>ISLAND WIDE CAPE HEDO-CAPE KIYAN |                           |            | 10:00 AM |
| * インターナショナルクリーンビーチデー(海洋自然保護センター主催)<br>INTERNATIONAL COASTAL CLEANUP<br>(COORDINATED WITH THE CENTER FOR MARINE<br>CONSERVATION, WASHINGTON DC) |            |                                                 |                           |            |          |
| 9                                                                                                                                              | 10月19日     | 読谷村<br>YOMITAN-SON                              | 渡具知ビーチ<br>TOGUCHI BEACH   | 10:00 AM   |          |
| 10                                                                                                                                             | 11月16日     | 恩納村<br>ONNA-SON                                 | 美留／塩屋<br>BIRU, SHIOYA     | 10:00 AM   |          |

Kenny Ehman  
ケニー イーマン 965-4279

Edo Sanchez  
エド サンチェス 964-2517

2118A

日本環境会議沖縄大会実行委員会の皆様、宇井純先生をはじめ、第一分科会の真喜志好一様、私たち宮古島から参加させていただきました第二分科会のまとめ役、お世話下さいました比嘉敏様、事務局の皆様、特に沖大の学生さんたち若い方々にとてもお世話になりました。おいそがしい時間の中で（私はパネル＜ポスターセッション＞を担当していましたので）手伝ってくださり、わがままを聞いて下さり、大会後、お願いしておきましたパネル展示のスナップ写真も送って下さり、ほんとにありがとうございました。大変遅くなりましたが、心よりお礼申し上げます。

私にとりましては、ほんとに久しぶりのこのような大会に参加させていただき、とてもいろいろな面で、ありがたいことでした。宮古島の自然環境、水のこと、ゴミのこと、もうもう大変な問題が山積の状態、このような時、様々なことで活動されている方々と身近にお会いできたことも、これからの力となることを確信いたしました。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

それから、私の沖縄に住む親しい友人からの連絡で比嘉敏さんが急逝されたという訃報に信じられないおもいでおります。

私は10年ほど前、友人から紹介をされてお会いしてからその後（私は宮古島で農業をすることで暮らしています）もう、ずっと再会の機会がありませんでしたが、日本環境会議に参加させていただいたことで、あの時再会することができました。何ともなつかしい時でしたが、このようなことになるなんて、ほんとに涙がとまりません。

敏さんと語り合うことはできなくても、行動するところは同じところと考えています。私自身は農というところで歩んでゆきたいとおもっています。再開できたことに

感謝いたします。ほんとにありがとうございました。ご冥福をおいのりいたします。

宮古の水を考える会 土岡小竹絵

琉球孤沖縄島

国頭郡今帰仁村字諸志上原1942番地  
比嘉 敏 殿

突然のことで驚いてしまいました。真地の団地から今帰仁に引っ越しされたとの事。今までのようにお話ができなくなり少し残念な気がいたします。

昨年ブロック大会の報告書も編集途中だったのに編集長の突然の引っ越しでどうしようか少々戸惑っています。まあ何とか皆で仕上げたいと思います。

今でもそんな軽い気持ちでFAXしそうです。

ヤンバルの桜も散り、春の香りを満身に感じながらも何か物足りなさ、さびしさを感じます。もうすぐイジュの花が咲き、新緑のまぶしいヤンバルの山々が生き生きと感じられる季節なのに・・・

Vinさんのいるところいつも友がいて  
友のいるところいつもVinさんがいた  
社会を見つめる厳しさはこだわりの中であつた  
社会を批判する目もこだわりの中であつた

土へのこだわり  
風へのこだわり  
海へのこだわり  
人へのこだわり  
命へのこだわり

ニライカナイへのこだわり

これらはVinさんの『生きざま』だった



のでは・・・

琉球の清浄性と生命磁場の共振性  
琉球が『まほろばのくに』と言えるのはいつの日か  
ヤンバルの大地にガジュマルに抱かれて  
家族と最愛なる息子と日本中の友と友と友の手によって  
自らの地にこだわりながら永遠の眠りについた

Vinさんさようなら

沖縄県山岳連盟 下地節於

### たから箱

ものがたくさん部屋  
一つ一つの思い出  
一つ一つの組み合わせ  
形をつくっていく  
どんな夢  
どんな明日  
一人でいる時間  
神になる  
想像の世界  
創造の世界  
点からはじまり 点から点へ  
面になり 奥行き 高さが生まれ  
三次元になる

浮き世のたわごと  
一つ一つ楽しみながら  
一つ一つ真剣に悩んでいく  
どんな昨日  
どんな今日  
これからも 歩いていく  
ページを重ねながら  
思い通りに

### ガラス越し

ガラスの向こう ガラスのこちら  
水の踊る音 光にゆれる 緑がもゆる  
いっぱい愛情を受け 沢山の酸素を出す  
繰り返される毎日  
繰り返されるシステム  
繰り返される生命

水面の乱反射  
光と水が戯れ 部屋いっぱいのプリズム  
光のダンス 小さな小さな生命のダンス  
エネルギーに リズミカルに  
時のたつのも忘れて  
酒のダンス  
教育のダンス 平和のダンス  
珊瑚のダンス 環境のダンス  
創造のダンス  
大きな母性に包まれ 好きに跳ね踊る  
見えないガラスを突き破り  
今日も明日も  
光と水と緑にかこまれ  
踊り続ける

### resistance

規則だらけの毎日に  
音をはずして歩いていく  
この世は誰のものなのか  
この世は誰のためなのか  
壊されていく母性に  
壊れ続ける理性  
明日は誰のものなのか  
明日は誰のためなのか  
風はどこ吹き行く  
酒とともにふらりとどこへやら  
大声で音をはずしつつ

與儀守剛

## 追悼集

### ビンちゃん

1996年秋

うないフェスティバル会場、ふいに声がかかる

ヤマト女性＝ヤンバル行き高速バス乗り場  
は何処？

おきなわ男＝知りませんけど

ヤマト女性＝皆さんなら御存知だと思って

意味不明の言葉を残して立ち去る

なんなんだ、今のは？

当惑したおきなわ男二人

飲んで、話して、酔って寝た

9時30分、電話する

飲みたいんだけど？

OK、サシミ買って行くよ

立法院の裁判だけどねえ

うん、どうなってる？

裁判所が依頼してた耐久性の鑑定が出たよ  
で、結果は？

鑑定人は僕らの主張を120%支持したんだ  
ほう、すごい、立法院残せるね

10時15分、電話がかかる

紹介したい人がいる、飲みに来ない？

おう、でもタクシー賃がない

それは任せておけ

・・・歓談のあげくの口論・・・

帰る！

寝ていけば？

いやだ！

酔いすぎて、まったく、これタクシー賃  
ありがとう、ピン

11時、電話する

飲まないか？

もう飲んでいる

じゃ、電話で話そう、酒、準備する

こっちも注ぐ、ちょっと待って

で、立法院のことだけど

うん

完成当時に鳩のレリーフを取り付ける予定  
だった

うん、知ってる

米軍の横槍で中止になって...

米軍のシンボルの鷲ならいい、と、そこま  
では知ってる

その鳩の製作図面が東京で見つかったんだ  
へえ？45年前の図面が？

そうなんだよ、だから立法院に鳩を付け  
るんだ

美しい！今の状況ひっくり返せるじゃな  
いか

飲んで、話して、酔って寝る

8時30分、電話がかかる

いま、「よねや」に居る、来ない？

いいよ、すぐ行く

遅いじゃないか

歩いてきたから

ま、いいか、紹介しましょう！

・・・です、よろしく！

・・・です、よろしく！

・・・です、よろしく！

飲んでなくても

酔ってなくても

心の扉とか

心の垣根とは無縁だったビンちゃん

酒を美味しく飲めた友よ

酒の量が減ってしまったよ

1997年3月4日0時30分から2時の間に 真喜志好一



## 比嘉敏さん

奄美から畏友、新元博文さんが訪ねて来た時、小禄の外人住宅の一軒屋で朝まで飲み明かしたことがある。

迎え撃ったのは西尾市郎さんと比嘉敏さん。他にも誰かいたような気がするが、10年以上も前のことで、記憶が定かでない。

西尾さんは、鉄の意志で困難に立ち向かう新元さんに敬意を表し、是非一献と、押っ取り刀で駆けつけたのであるが、敏さんは視野を広めるためにいろんな人、特に奇人・変人、世間の枠に収まらない人と意識的に話して、勉強したいと訪ねて来た。

考えれば多少失礼な面が無くもないが、そこは豪傑。飲むほどに歌うほどに、かか大笑、夜明けを告げるニワトリにフライングの警告を出すほど盛り上がった。

当時の敏さんは興味津津、旺盛な好奇心を、社会に向って無防備なほど発散させていた。

「知らないことは恥ずかしい事ではない。知ったかぶりをすることが恥ずかしいのだ。」その後、何度となくこの言葉を敏さんから聞いた。

前向きに、踏み出した姿勢のまま、突然に亡くなった。あまりにも突然に。お陰で、ふっとした間隙に、しぐさまでまざまざと思い出してしまう。やすらかに。

内海正三

## ああ比嘉敏君

白保の新石垣空港反対運動で知り合ってから、時に仕事や運動の中で行きあって短く語り合うことはあっても、ゆっくりと腹の中を交換する機会がないままに、君を失

うことになった。一度は君の仕事として、私が考察した水分子の模型を図に書いてもらったが、この時にも時間に追われて、仕事以外の話はあまり出来なかった。環境会議の仕事が一段落ついて、さあこれからゆっくり議論ができるなあと楽しみにしていたところだった。おそらくは君も同じ思いであっただろう。

今の沖縄の環境を守るのに必要なものは、わきあがる危機感と怒りに支えられた強いエネルギーと、社会の運動法則を見すえた社会科学の理論の両方が必要である。君は前者を代表し、私は後者を担当して、これから力を出しあって問題に取り組もうと考えていたところであった。私たちが最後に顔をあわせた環境会議の幹事会は、同時に新しい活動の場である沖縄環境ネットワークの出発点でもあった。君もこの新しい協力の場ができたことを喜んでいたら聞く。

この浮世では、喜びにつけ悲しみにつけ、心の憂さを払う玉箒を求めたくなるものである。人一倍起伏の大きい君の心は、酒によって鎮められていたのかもしれない。あるいはもっと早く心をうちとけてつき合っていたら、君の心の起伏をしずめることができたのではないかと、私は悔やんでいるが、後悔は先に立たなかった。

今は君の遺志をついで、沖縄環境ネットワークを立派に確立し、沖縄の環境を守りぬき、再生、修復させることが、おそらくは君が多少煙たがりながらもあてにしていた、残された私のなすべき仕事であろう。遠からずして君に再会する時は、なにがしかの着実な前進の知らせを持って、天の美酒を心おきなくくみかわそうではないか。

在天の霊よ、安じて待たれよ。そして時折は風の便りにのせて、後進を鼓舞されんことを祈る。

宇井 純





Vinさんへ

Vinさんの  
敏感とは?!



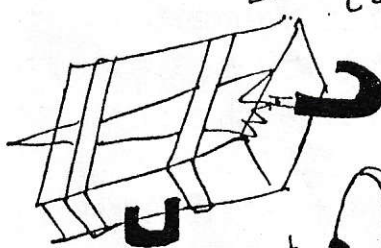
機敏のVin... Yes!!

デリケート  
敏感のVin... Yes!!

...でもやっぱり皆の心を  
満たしてホロ酔い気分にして  
お酒の...Vin?!

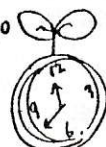
Vinさんの話は  
いつでもHotだ!  
そして“?”をよこした。

“?”の答えを  
教えないまま、  
どこか散歩に  
いっちゃった。



場所が違って  
取り組む問題は一緒だね。

話という種から芽がでる。  
そして葉がでて、  
たっさんの花がのびる。  
たのしいね、  
Vinさん。



島ざりもはいて  
どこまでも、どこまでも...  
今どこを散歩してるの?

山のこと、海のこと、空のこと。  
大人のこと、子どものこと、社会のこと。  
時がたつのも忘れてはたはた。  
あ、おいしい食べ物やお酒のこと...



Vinさんバにぎってくれた  
おにぎり。

あ  
野原麻由美





お早うございます。起きたばかりで。昨日は三〇分遅れて懇親会に突入したけれども、じつに、楽しいなという感じがしましたね。水問題を考えるのにどうしようかということで「島々の水環境」という分科会のコーディネーターをやられたわけですが、宇井さんの友人である保坂さんという人にニカラグアの下水道計画の報告をお願いしたところ、日本国は先進国だと威張っているわりには、下水道計画は発展途上国と変わっておらんではないかということ、じゃあどうするの？わかったと。基本的にですね、国民が行政をきちんと監視しないと、膨大な金をつぎ込んで国民になんら還元しない計画になるというのがあるわけです。我々がなにを反省すべきか、そこに見えるわけですから、残念ながら、個人的に持つ哲学、人生哲学、このへんをきちんとやって、行政を監視する認識がなければ、三〇年前も現在も、いくらお金が宙を舞ってもですね、肝心の個人個人に還ってこないわけです。

じゃあ、我が沖縄の現状はどうなっているのか、琉球大学の渡久山さんに話してもらった。赤土の問題があるわけだけど、集中的にそれを監視している吉嶺さんとか玉城さんとか、個人がいくら訴えても、沖縄県民そのものがきちんと認識してなければ、行政はなんら変わらんわけです。

西銘さんから大田さんに県政が変わっても、表面上は若干変わったというふうに見えるけれども、現状はなんにも変わらんとらん。「あんた方どうするの」と、大勢から言われているわけです。

さて、我が分科会の参加者は関心あつて参加したわけですが、でも、せいぜい三〇〇名。選挙の結果に影響するほどではない。沖縄全体の話を渡久山さんにして頂いても、せいぜい三〇〇名くらいしか聞いとらんそれが県民に波及するののか。ああ、危ない話だ。

照屋さんという人が、二五年前に自分とこの水はいっさい敷地外に出さんというところで、哲学を持って実行しています。地域でもいろいろな委員会に入って発

言しているんだけど、彼ら言うことは地域の理念にならない。土建業者の言う方が力があつたりする。「私どうすればいいんですか」というんで、環境会議でこういうことを発表したんだよと、地域の皆さんに見せてやろうではないかということと呼んで話させたら、非常に深刻です。

佐敷町議の瀬底さんとい



比 嘉 敏

う人が、佐敷、西原、与那原、中城、四町村にまたがる中城湾流域下水道計画は、莫大な金がかかると。かかるけれども、効果はないよと。彼らは学習会開いて学習した結果を前の町長に、それから議会に訴えるんだけれども、どうにもならん一度決められた行政計画はやるんだと。三百億かろうが四百億かろうが、将来

住民に税金として跳ね返るんだということがわかっていようが、やるんだと。これは大田さんになっても一緒。それじゃいかによとということ、彼らは頑張つて、今度、町長を変えました。下水道計画も見直そうとやってみよう。変わるかどうか。変わるかどうか。うかは、地域住民が彼らをバックアップして、「これ

り上げて、顔上げてもの言わん限り、この国変わらんわけですよ。沖縄変わらんわけです。それはですね、離島に行けば行くほどとひといいわけですよ。

宮古島の當間まり子さんという人が、宮古の地下水の活動を訴えました。なんであんな方だけでやっていると聞いたなら、これは行政の問題になりにくいと。宮古島というのは特殊な島です。選挙は金で飛んで当然というのが今度の町長選挙までありました。今度、変わりました。病院長が町長になりました。良識のある人だと聞いてます。そういう人でさえ、個別の問題になると、ようわからんとか言わん。救いがたいわけですよ。問題に気がついて訴えても、周りが「右へナラエ」している状況では、変わらないわけです。

じゃあ、南方ではどうなっているかと。サイパン島。第三世界では、教育受ける機会もないわけですね。自らの状況がいかに悪いかということすら認識していない。日本からNGOが行って、し尿など汚水が道路に

流れているようではコレラ・チフスなどが流行る、これは良くないと。我々の持っている技術、お金がからん技術で直しましょうと。地域住民と一緒に工事を、その部分は見事に効果が上がるけど、情報が行かんわけです。いいことやった部分が次へ行かない。これは日本も沖縄も一緒です。那覇でやっていたことが山原に行くまで非常に時間がかかる。これ、なんなのか。マスコミも同じです。問題をきちんと認識し、わかった人はわかってない人に伝える。我々ここへ参加した一人ひとりが哲学にして、哲学を次々に伝えていって行動する。言うだけじゃダメです。自分が言う、それから暮らす。暮らしてまで発展しなければ、この世の中は一〇〇年たつても変らんという思いで残念に思いつつも、なおかつ、環境会議にこれだけの皆さんが参加してくれたということ、ああ、望みは残つておるかと感じた次第です。ありがとうございます。

（一九九六年十一月二四日 日本環境会議沖縄大会にて）



### ◆会 員 募 集

随時、会員を募集します。知人、友人にも声をかけて下さい！

氏名、住所、郵便番号、電話（ファックス）番号、所属（活動している団体があればその名称）をハガキで下記まで郵送して下さい。

〒902那覇市国場555番地  
沖縄大学地域研究所  
沖縄環境ネットワーク  
TEL・FAX 098-854-2962（字井研究室）

沖縄環境ネットワークは会費制です。

年会費：個人 3,000円

団体 10,000円

#### 郵便振込

（口座番号）02010-9-20132

（加入名）沖縄環境ネットワーク

\*振込は、3月11日（火）以降をお願いします。

### ◆投 稿 募 集

地域で取り組んでいる活動、広めたい情報、意見など、会員の声をお寄せ下さい。

連載を組みたい方、ご相談下さい。

特集を組んで、原稿の依頼やインタビューをお願いをすることもあります。

現在、インターネットが利用できるように準備もしています。

### ◆沖縄環境ネットワークのマークと会報の名称を募集

アイデアが採用された方は、個人会費を免除！ふるってご応募下さい。郵送、あるいは直接持ち込んでも結構です。

応募期限：4月10日（木）必着

### ◆予定

（この欄の情報も受け付けます。必ず連絡先をお知らせ下さい。）

3月25日（火）午後7時 世話人会

沖縄大学地域研究所

4月15日（火）環境ネットワーク会報

Vol. 1 発行

4月26日（土）勉強会「環境基本条例」

淡路剛久（立教大学教授）

6月21日（土）勉強会「雨水利用」（予定）

村瀬 誠（墨田区役所環境対策課・ローラースシステム研究グループ）

### ◆編集後記

新しい出発の時に、大事な人を失った。寄せられた追悼の思いは、とても悲しいが、温かくて、なぜだか希望を持たせてくれる。それぞれの思いにビンさんが生きているに違いない。なんだ、ビンさんが増えたのか。

ビンさんの冒頭挨拶「お早うございます。起きたばかりで」は午後の2時に発せられた。報告者がいないと、裏方が胃を痛くしてる中、とうに時間が過ぎてやって来たのは二日酔いにシマゾウリを揺らす人だった。

後のシンポジウムで一番多く引用されたのは、そのビンさんの言葉だった。（後藤）

## 沖縄環境ネットワーク会報

創刊準備号

1997年3月8日発行

発行：〒902那覇市国場555番地

沖縄大学地域研究所

沖縄環境ネットワーク

TEL・FAX 098-854-2962（字井研究室）

発行人：宇井純 編集人：後藤哲志